

次世代ブロードバンド技術の利用環境整備に関する研究会

開催要綱

1 背景・目的

ブロードバンドの全国整備については、次世代ブロードバンド戦略2010に基づき、国・地方公共団体・事業者が連携し、地域のニーズや実情に応じた適切な技術を利用しながら推進することが重要であり、そのためには多様な技術が利用できる環境の整備を図る必要がある。

次世代ブロードバンド技術については、超高速サービスに対する利用者ニーズに応じて、FTTHのほかにも、例えば、3THz 以上の周波数領域である赤外線領域や可視光領域を活用した技術の開発など、100Mbps を超える通信速度を実現する有無線技術が萌芽してきている。しかしながら、次世代ブロードバンド技術についての実用化に向けた標準化等の利用環境の整備に向けた検討が行われていない状況にある。

以上の状況を踏まえ、ブロードバンドの全国整備に向け、次世代ブロードバンド技術の普及を促進するため、その技術面における利用環境整備方策の在り方の検討に資することを目的として、本研究会を開催する。

2 名称

本会の名称は、「次世代ブロードバンド技術の利用環境整備に関する研究会」と称する。

3 検討事項

本会は、以下の事項について検討する。

- (1) 次世代ブロードバンド技術の動向把握
- (2) 利活用イメージの整理
- (3) 実用化に向けた標準化課題等の整理
- (4) 技術面の利用環境整備方策の在り方 等

4 構成及び運営

- (1) 本会は、総合通信基盤局長の研究会として開催する。
- (2) 本会の構成員は別紙のとおりとする。
- (3) 本会には座長及び座長代理を置く。
- (4) 座長は、研究会構成員の互選により定めることとし、座長代理は座長が指名する。
- (5) 座長代理は、座長を補佐し、座長不在の時は、座長に代わって本会を招集し、主宰する。
- (6) 本会は、必要がある時は、外部の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (7) その他、本会の運営に必要な事項は、座長が決めるところによる。

5 開催期間

本会の開催期間は、平成18年11月から開始し、平成19年6月末を目途に報告書を取りまとめる予定。

6 庶務

本会の庶務は、総合通信基盤局電気通信事業部高度通信網振興課が行う。

次世代ブロードバンド技術の利用環境整備に関する研究会

構成員

(五十音順、敬称略)

- 井堀 幹夫 市川市 CIO 情報政策監
- 牛窪 孝 沖電気工業(株) 研究開発本部ネットワークデバイスラボラトリ
光ネットワークサブシステム研究ユニット ユニットマネージャ
- 小川 博世 (独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター長
- 黒川 敏 ビル間高速光空間通信網推進協議会 常任幹事
- 小池 隆司 浜松ホトニクス(株)取締役 東京支店長
- 笹生 剛良 光無線通信システム推進協議会
- 坪川 信 NTTアクセスサービスシステム研究所光多重システムプロジェクト
次世代アクセス方式グループリーダー 主幹研究員
- 中川 正雄 慶應義塾大学 理工学部情報工学科教授
- 橋本 明 (株)NTTドコモ 無線標準化推進室長
- 羽鳥 光俊 東京大学名誉教授、中央大学 理工学部電気電子情報通信工学科教授
- 濱井 龍明 KDDI(株) 技術統轄本部技術開発本部 部長
- 藤原 隆平 日本電気(株) ソリューション開発研究本部 エグゼクティブエキスパート
- 堀崎 修宏 (社)情報通信技術委員会 専務理事
- 松村 友邦 可視光通信コンソーシアム 事務局長
- 松本 充司 早稲田大学 大学院国際情報通信研究科教授
国際情報通信研究センター副所長
- 村尾 憲治 キヤノンマーケティングジャパン(株) 光機営業本部
セキュリティシステム営業部長
- 八嶋 弘幸 東京理科大学 工学部経営工学科教授
- 山戸 康弘 大分県企画振興部IT推進課長
- 弓削 哲也 ソフトバンクテレコム(株) 専務取締役 CTO 研究所長 兼 企画本部長